



6月もあっという間に折り返しを迎えようとしています。梅雨の時期に入っていますが、今のところ天気がいい日も多く、学校の行事は順調に進んでいます。

5年生：宿泊学習

7日（水）から8日（木）の1泊2日で世知原少年自然の家に宿泊学習に出かけました。山田小学校4・5年生との合同学習でした。1日目メインの活動は、「飯ごう炊さん」です。班で協力し、おいしい「カレーライス」ができました。自分たちで作った料理はやはりおいしかったということです。

2日目は天候が心配されましたが、予定通り「沢登り」を行いました。自然の中でしかできない体験を、協力して行うことができました。学校に帰ってきた時の顔は、疲れながらも充実感にあふれた表情でした。

※世知原少年自然の家は、宿泊施設の老朽化により、次年度から日帰り施設となります。



「花いっぱい運動」の花の苗を植えました

9日（金）令和5年度花いっぱい運動の花の苗が生月支所から120本届きました。ペチュニア、マリーゴールド、ダリアなど色とりどりの花です。ありがとうございます。生っ子もきれいな花に「きれい～。早く植えた～い」と昼休みに雑草をきれいにとり、花の苗を植えました。これから大切に育てていきます。大きくなるのが楽しみです。

平戸市少年の主張大会

11日（日）平戸文化センターにおいて「平戸市少年の主張大会」が行われました。学校代表として出場した6年生の〇〇〇〇さんは、学校でのリハーサル以上に自信をもってジェスチャーを加えながら、堂々と意見を発表することができました。内容を裏面にご紹介します。

7月の予定

7月 3日（月）委員会活動

4日（火）1～4年水泳指導

5日（水）1、5、6年水泳指導

6日（木）PTA 地区懇談会

10日（月）クラブ活動

11日（火）地区児童会

17日（月）海の日

18日（火）多読賞表彰

20日（木）第1学期終業式

まず、やってみよう！

〇〇〇〇



「応援団の団長になりたい人は？」

そう聞かれた時、私は迷っていました。やってみたくて、みんなの前に立ち、話すのが苦手な私には難しいと感じたからです。

(副団長ならできるかも。)

そう思って、私は赤組の副団長に思い切って立候補しました。副団長は、団長や赤組のみんなを支えたり、団長がいなかったら代わりにみんなをまとめたりする役です。

なぜ、人前に立って話すことが苦手な私が副団長に立候補しようと思ったかという、私が一年生の時、団長と副団長はどちらも女子で、

(すごくカッコいい！私もお姉さんたちのようになりたい！)

という思いが強く残っていたからです。また、中学校進学前に、今までできなかったことにチャレンジしてみたいと思ったからです。

私がこれまで見てきた副団長は、堂々としていて、みんなの前でもてきばきと指示を出す人ばかりでした。私は副団長になったのはいいものの、今の自分が一年生にそのように思ってもらえているのか・・・と思うと不安になってきました。

いよいよ応援団がスタートする結団式の日、団員のみんなが次々と自分の抱負を言っていきます。私は自分が言おうと思っていたことを、他の人が言ったので、自分の応援団にける気持ちを十分に伝えることができませんでした。もっと副団長として自信をもって自分の思いを言えたら良かったのに・・・と落ち込む結団式でした。

気を取り直してのそんだ練習では、下級生に教える難しさも感じました。私は大きな声を出すのが恥ずかしくてみんなに的確な指示を出すことが、なかなかできませんでした。そんな時、団長の〇〇さんは、

「応援歌の声が大きく出ていました。」

と、みんなの良かったところをほめ、「もっとがんばろう」という気持ちにさせていました。また、体をそらして、顔が赤くなるほど声を張り上げていました。まず自分がしっかり声を出して盛り上げることで、みんなのやる気を引き出しているようでした。一輝さんの姿を見て、私も勇気を出してやってみようと思いました。

「体全体を使って大きく動くといいよ。」

と言ってみました。しっかり声を出し、やってみせること。そうすることで、低学年のみんなも、しっかり話を聞いて、動いてくれることが分かりました。

赤組は去年も優勝しています。今年も優勝できるよう、私たちは応援の内容や、使う道具について何度も話し合いました。友達のアイディアに「なるほど！」と思うことも多く、刺激を受けました。みんなで力を合わせてやってみることで、新たなものが得られました。

運動会当日、私は、

(今まで以上に声を出して、連覇を目指すぞ！)

という強い思いがわき上がってきました。応援合戦では、赤組が一丸となって、練習の何百倍も声を出してがんばっているように感じました。応援はあっという間に終わりましたが、私は爽快感でいっぱいになりました。悩みながらも練習をがんばった成果が発揮できたと思ったからです。

最後の得点発表は、私の役目でした。ドキドキしながら、紙を広げました。

「赤366点、白368点、優勝は白でした！」

その瞬間、悔しさとともに、六年間で一番頑張った運動会、副団長としてやってきて良かったと心から思いました。

挑戦すること。それはうまくいっても、いかなくても、自分の成長に間違いなくつながるということ。これが副団長にチャレンジして得たことです。

「まず、やってみよう！」

私はこれからもこの気持ちを大切にしていきます。

